

## 第47回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

### 1. 日時・場所

平成23年9月20日(火)-21日(水)

北九州国際会議場(日本原子力学会 2011 年秋の大会展示会場)

### 2. 来訪者: 27名

### 3. 説明概要:

日本原子力学会2011年秋の大会の展示エリアにおいて、来訪者に核融合、ITERなどに関する資料を配布し、ITER計画について説明するとともに、ITER機構職員募集および登録の案内を行った。(ITER協力調整グループ 安東)

### 4. 主なQ&A

Q: ITER 計画とは何ですか？

A: ITER 計画は、平和目的の核融合エネルギーが科学技術的に成立することを実証するため、人類初の核融合実験炉を実現しようとする超大型国際プロジェクトです。ラテン語の道や旅という意味も兼ねる「ITER」には、核融合実用化への道・地球のための国際協力への道という願いが込められています。ITER 計画は、2019 年ころの運転開始を目指し、日本・欧州連合(EU)・ロシア・米国・韓国・中国・インドの7極により進められています。ITER 計画は、国際協力における前例のない挑戦です。そこには、世界最先端の研究計画のために英知が結集されています。この国際協力は 1985 年ジュネーブでの米ソ首脳会談をきっかけとして開始されました。

Q: ITER建設地のカダラッシュはどこにあるのですか？

A: イーター建設地のカダラッシュは、南仏プロバンス地方にあります。最寄りの国際空港はマルセイユ・プロバンス空港です。マルセイユ・プロバンス空港からカダラッシュまでは70 kmほどあり、車で約1 時間程度かかります。イーター建設サイトは、フランス原子力庁(CEA)のカダラッシュ研究センターに隣接しています。カダラッシュの近くの町としては、南西方向に40 kmほど離れたところにエクサンプロバンス、また北方向に20 kmほど離れたところにマノスクがあります。

Q: 現在カダラッシュサイトでイーター活動に従事している日本人は何人いますか？

A: 2011年9月はじめで、専門職員(Professional Staff)として28名の日本人研究者・技術者が、カダラッシュサイトでイーターの建設活動に従事しています。支援職員(Technical Support Staff)には、7名の日本人職員が採用されています。部門別にみると、以下のようになります。

部門	専門職員	支援職員
機構長オフィス(機構長を含む)	3	0
プロジェクト管理・技術統合	7	3
トカマク装置	5	1
プラズマ運転	4	1
プラント設備	3	0
制御・加熱	4	1
品質保証	1	0
建屋関係	1	0
管理部門	0	1
合計	28	7

なお、ITER機構の職員の総数は、専門職員が299名、支援職員が171名、合計470名で、日本国籍の方の割合は、専門職員が9%程度、支援職員が4%程度、全体で7%程度となっています。原子力機構では、もっと多くの方がITER機構で働けるよう、支援を行っております。

Q: イーター機構職員に応募するとき、核融合に関する職務経験は必要でしょうか？

A: イーター機構が募集するポストは、核融合に関する職務経験がある研究者・技術者ばかりでなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。

Q: ITER 機構職員の募集や応募方法について具体的に教えて下さい。また、面接はどのように行われるのですか？

A: ITER 機構の職員募集は、不定期に ITER 機構のホームページに掲載されます (<http://www.iter.org/jobs>)。このホームページ上で、現在募集中のポストやその職務に関する情報(Job Details)、募集のプロセスに関する説明などを見ることができます。募集されたポストの職務に求められる要件とご自分の経歴などを照らし合わせたうえで、応募をご判断いただきます。また、応募にあたり、同ホームページ上で、所定のフォームにご自分の情報を入力し、ITER 機構へ送信すれば手続きは完了します。

応募後、ITER 機構による書類審査に合格すると、次に ITER 機構が行う面接による審査を受けます。面接は、ITER 機構の複数の面接者とテレビ会議システムを用いて面接することになります。テレビ会議で面接を行うのは、世界中のどこからでも平等な条件で面接を受けられるようにするためです。

この面接審査に対する支援として、原子力機構が実施している登録制に加入し

ていただきますと、模擬面接ビデオを閲覧することもできます。また面接審査の対象の方の希望により、面接のトレーニングも行っています。登録制への加入方法については、下記の URL をご覧ください。

[http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu\\_midashi1\\_information\\_system.html](http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1_information_system.html)

以上



日本原子力学会 2011 年秋の大会の展示エリアの様子